

自民党 農林水産副大臣

磯崎陽輔氏

参院議員(大分選挙区)



インタビューに答える磯崎陽輔氏

2017国政展望 国会議員インタビュー

～6～

「政府の一員として重視する政策課題は。最も大事なものは経済対策だ。アベノミクスの成果は着実に上がっているが、賃金はいまひとつ、というの

「もうかる農業」へ転換

の早期成立を図り、経済最る。

優先で取り組みたい。

まずは賃金を上げ、その上で働き方改革で長時間労働を是正し、生まれたゆとりを消費に結び付ける。

「景気が国民の実感だろう。対策をさらに進めるために2017年度政府予算案も2017年度政府予算案

日本経済の底上げを図るには、こうした循環をつくり出すことが大切にな

「通常国会の焦点は。憲法改正だ。平和安全法制などがひと思つき、それほど与野党が対決する法案はない。国会として冷静に憲法改正を議論する段階に入ったと思う。

「成長戦略に掲げる農業改革にどう取り組むか。改革の目的は「もうかる農業」への転換だ。農家の所得を上げ、農業を持続可能な産業にしていく。農地の集約、経営の法人化を通して組織的な農業に変え、高収益の作物に切り替える努力も必要になる。日本の質の高い作物を海外に売り込んでいくことも重要だ。

に携わってきた。今後の議論をどう進めるか。

「自民党内でも改憲論議

「コメの生産調整(減反)見直しを18年に控え、生産現場では飼料米の補助金廃止を懸念する声がある。どう対応するか。

「飼料米の補助金制度は主食用米の需給調整に必要な制度であり、今すぐやめるようなことはない、とはっきり申し上げたい。